九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[580]九州大学大型計算機センターニュース : No.580

https://doi.org/10.15017/6618274

出版情報：九州大学大型計算機センターニュース. 580, pp.1-, 1999-03-15. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

センターニュース Ｎｏ．５８０

１．平成１０年度末・１１年度始めの計算サービスの一時停止について

年度末・年度始めの処理作業のため，下記のとおり計算サービスを一時停止します。

ただし，ライブラリサーバ(wisdom)及び端末サーバ(kyu-ts)は通常どおり運用します。

また，オープン機器室及び画像機器室は３月２９日（月）から３月３１日（水）まで閉館します。

月 日 （曜）時刻	利用者サービス	センター内作業
３月２９日（月）9:00 AM	平成１０年度の計算サービス終了	
３月２９日（月）9:00 AM ～ ４月 １日（木）9:00 AM	計算サービス停止 汎用コンピュータ M-1800 スーパーコンピュータ VPP700	＊出力待ちジョブの強制出力作業 ＊システムバックアップ作業 ＊登録申請作業 ＊システム変更作業
４月 １日（木）9:00 AM	平成１１年度の計算サービス開始	

＊情報サロンは通常どおり利用できます。

（システム運用掛 ダイヤルイン 092-642-2307）

２．「九州大学大型計算機センターの利用に関する暫定措置を定める規程」の一部改定のお知らせ

平成１１年４月１日からマルチメディアデータベースサーバ（ファイルサーバ）の導入に伴い，現在汎用コンピュータ(UXP/M)及びスーパーコンピュータ(UXP/V)で使用中のファイルはすべてファイルサーバで運用します。 また，老朽化に伴い，分散メモリ型小規模並列コンピュータ(CM-5)のサービスを停止します。

従って，利用負担金の一部（ファイル使用負担金及び演算負担金の会話型処理の廃止）を表１のとおり改定いたします。

改定内容は表２をご参照ください。

表１．利用負担金表

区分		負担金の算定基準
演算負担金	バッチ処理	スーパーコンピュータを利用する場合 １件の演算時間のうち ５分まで １秒（１秒未満の端数があるときは，その端数を 切り上げる。以下この表において同じ。）につき ３円 ５分を超え１５分まで １秒につき １円 １５分超 １秒につき ０．４円 汎用コンピュータを利用する場合 １件の演算時間のうち ５分まで １秒につき ２円 ５分を超え１５分まで １秒につき １円 １５分超 １秒につき ０．１円
	会話型処理	スーパーコンピュータを利用する場合 １秒につき ３円 汎用コンピュータを利用する場合 １秒につき ４円 ライブラリサーバを利用する場合 １秒につき ０．５円
入出力負担金	端末接続	専用回線又は交換回線を利用する場合 接続時間 １分（１分未満の端数があるときは，その端数を 切り上げる。以下この表において同じ。）につき ０．５円
	プリンタ	プリンタ用紙 １頁につき ４円 高画質カラープリンタ用紙（Ａ５判） １頁につき １８０円 高画質カラープリンタ用紙（Ａ４判） １頁につき ３６０円 大型カラープリンタ用紙 （Ａ０判） １頁につき ４，０００円
ファ		汎用コンピュータ （ＭＳＰ） 使用期間 １日当たり ０．５メガバイト（０．５メガバイト未満の端数が あるときは，その端数を切り上げる。）につき １円 ファイルサーバ 使用期間 １日当たり

イル使用負担金	ディスク	１００メガバイトまで ０．５メガバイト（０．５メガバイト未満の端数が あるときは，その端数を切り上げる。）につき １円 １００メガバイトを超える部分 ５０メガバイト（５０メガバイト未満の端数が あるときは，その端数を切り上げる。）につき １０円
	マスストレージ	使用期間 １月（１月未満の端数があるときは，その端数を 切り上げる。）当たり１００メガバイト（１００ メガバイト未満の端数があるときは，その端数を 切り上げる。）につき ５００円
ワークステーション負担金		使用時間 １分につき ３円
データベース負担金		特定データベースを利用する場合 使用期間 １年（１会計年度）当たり １種類のみを利用するとき ３，０００円 （１種類のみを利用し，データベース負担金を既に支払った 者が，２種類以上利用することとなった場合の同負担金は ２，０００円を加算するものとする。） ２種類以上を利用するとき ５，０００円
各区分共通負担金		各区分に従い算出した利用負担金額の合計額に100分の5を乗じて得た額

備考

１ 演算負担金バッチ処理の項中スーパーコンピュータを並列プログラムで利 用する場合の負担金については，各演算時間中その最長の演算時間を基にして算出するも のとし，スーパーコンピュータを１７並列以上のプログラムで利用した場合の負担金の算 出基準は，同項に規定する演算時間の区分に従い各々その単価の２倍とする。

２ 利用負担金は，利用者の登録番号（利用者番号に支払いコードを加えたも の）別に月ごとに集計する。ただし，データベース負担金については，当該利用を開始し た月に集計す

る。

3 利用負担金額（各区分共通負担金を除く。）の合計額が１００円に満たない場合は，これを１００円に切り上げる。

4 この表において「特定データベース」とは，センターが第３者との有償契約に基づき保有しているデータベースのうちセンターが指定したものをいう。

表２．改定内容新旧対照表

区分		旧	新
演算負担金	バッチ処理	スーパーコンピュータ ３円／秒（５分まで） １円／秒（１５分まで） ０．４円／秒（１５分超過分） 汎用コンピュータ ２円／秒（５分まで） １円／秒（１５分まで） ０．１円／秒（１５分超過分）	同左 同左
	会話型処理	スーパーコンピュータ ３円／秒 汎用コンピュータ ４円／秒 並列コンピュータ １円／秒 ライブラリサーバ ０．５円／秒	同左 同左 削除 同左
ファイル使	ディスク	１円／５００ＫＢ・日	汎用コンピュータ(MSP) １円／０．５ＭＢ・日 ファイルサーバ １円／０．５ＭＢ・日 １００ＭＢを超える部分

用			１０円／５０ＭＢ・日
負担金	マスストレージ	５００円／１００ＭＢ・月	同左
備 考		１ 並列プログラムで使用した場合の負担金については，各演算時間中その最長の演算時間を基に算出，１７並列以上のプログラムで使用した場合各々２倍の単価 ２ 分散メモリ型小規模並列コンピュータ利用 ３ 利用者の登録番号別に月ごとに集計 ただし，データベース負担については，当該利用を開始した月に集計 ４ 利用負担金額の合計額 ５ 「特定データベース」	同左 削除 同左 同左 同左
施行年月日		平成１０年４月１日	平成１１年４月１日

（システム運用掛 ダイヤルイン 092-642-2307）

３．平成 11年度 講習会開催計画について

平成 11年度 講習会開催計画

開催日		講習会名	内容	募集
4月	2日(金)	センター入門	センターの概要紹介、デモ、見学ツアー	40名
	8日(木)～9日(金)	UNIX 初級	UNIXコマンド, X-window, エディタ(mule)の基本的な使用方法の解 説及び実習	40名
	22日(木)	スーパーコンピュータ利用法 I	VPP700/56システムでFortran,Cなど のプログラム言語を利用するための基本的なコマンド,環境の解説及び実習	30名
	23日(金)	スーパーコンピュータ利用法 II	VPP700/56の単一PE上でのベクトル化プログラ ミング,チューニングツールの使用方法の解説	30名
	28日(水)	センターネットワーク利用法 (初級)	Windows環境でのInternet ExplorerおよびNetscapeを利用した電子メール, 電子ニュースの利用法, ダイアルアップIP接続法の説明と実習	40名
5月	7日(金)	MSP→UNIX 移行	ファイルの移行方法, 基本コマンド, エディタの紹介 (以降適宜開催)	40名
	10日(月)	A0プリンタ利用法	A0 サイズのポストスクリプトファイル作成法及び出力方法	30名
	17日(月)	UNIX 中級	UNIXにおけるファイル・プロセス管理,シェルプログラミ ング等についての解説と実習	30名
	19日(水)	センターネットワーク利用法 (中級)	セキュリティを考慮した遠隔ログイン, ファイル転送などのツールの利用法	40名
	20日(木)	Fortran 90/VPP(初級)	並列化プログラミング手法の概要	40名
	27日	Fortran 90/VPP(中	並列化プログラミング手法の概要	40

	(木)	級)		名
6月	1日(火)	メッセージパッシングライブラリ (MPL)	MPIによる並列化プログラミングの概要	30名
	2日 (水)	文献情報検索	文献情報検索システムAIRを用いた文献情報の検索と実習 (MSP)	40名
	4日 (金)	LS-DYNA	非線形動的構造解析ソフトウェアの使用に必要な基本的内容の解説, 実習	20名
7月	9日 (金)	MASPHYC	材料の物性・構造解析システムの使用法の説明と実習	20名
	15日 (木)	α-FLOW	汎用３次元流体解析システムの使用法の説明と実習	20名

その他, 数値計算ライブラリ, AVS などに関する講習会を予定しています.

具体的な日程は決まり次第センターニュースでお知らせします.

センターニュースは下記の HTTP アドレスより閲覧できます.

http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/users/news.html

共同利用掛 (TEL: 092-642-2305, E-mail: kyodo@cc.kyushu-u.ac.jp)

４．大型計算機センター講習会について

大型計算機センターでは下記のとおり講習会を開催します。希望者は、大型計算機センター共同利用掛 (Tel: 092-642-2305, E-mail :kyodo@cc.kyushu-u.ac.jp) 宛にお申し込み下さい。

- 会場：大型計算機センター・多目的講習室 (3階)
- 対象：センター利用経験者（センター入門については、これからセンターの利用を考えている方）
- 受付時間は開始時間の30分前からです。
- テキストはセンターで用意します。

開催日・定員	内 容	申し込み締切
● センター入門		
4月 2日 (金) 10時～ 12時 40名	センターの概要紹介、デモ、見学ツアー	3月 29日 (月)
● UNIX 初級		
4月 8日 (木)、9日 (金) 10時～15時 40名	UNIX コマンド、X window、エディタ (mule)、の基本的な使用方法の解説及び実習	4月 5日 (月)
● スーパーコンピュータ利用法 I		
4月 22日 (木) 10時～15時 30名	VPP700/56 システムで Fortran、C などのプログラム言語を利用するための基本的なコマンド、環境 の解説及び実習	4月 19日 (月)
● スーパーコンピュータ利用法 II		
4月 23日 (金) 10時～15時 30名	VPP700/56 の単一 PE 上でのベクトル化プログラミング、チューニングツールの使用方法の解説	4月 19日 (月)
● センターネットワーク利用法 (初級)		
4月 28日 (水) 10時～15時 30名	Windows 環境での Internet Explorer および Netscape を利用した電子メール、 電子ニュースの利用法、ダイアルアップ IP 接続法の説明と実習	4月 23日 (金)

共同利用掛 (TEL: 092-642-2305, E-mail: kyodo@cc.kyushu-u.ac.jp)

５．平成１１年度公用データベース提供課題，公用データベース用ソフトウェア開発課題募集のお知らせ

標記申請を下記のとおり受け付けます．公用データベース，公用データベース用ソフトウェア開発課題は，申請されたものの中からデータベース委員会で審議の上，決定されます．公用データベースと認められますと，開発，構築，維持に必要な利用負担金が一部または全額免除されます．

なお，このお知らせが遅れましたため，締め切りまでの期間が短くなっておりますことをお詫びいたします．

記

1. 申請資格

   本センター利用有資格者

2. 申請締切

   平成１１年3月２６日（金）

3. 申請手続

   所定の申請書に必要事項を記入の上，データベース室まで提出する．（申請書はデータベース室に用意してあります．）

4. 対象課題

   広範囲の研究者により学術研究上必要とされ，継続的かつ頻繁な利用が見込まれるデータベース及びデータベース用ソフトウェア

（データベース室 ダイヤルイン 092-642-2310）

database@cc.kyushu-u.ac.jp